



ひらした
平下
(明和)

なおき
尚己



富士宮市の野球及びソフトボール環境の改善について

問 軟式野球及びソフトボールの市内の競技人口は県内他市と比較していかがか。

部長 軟式野球：競技人口4位、人口比率1位。ソフトボール：競技人口4位、人口比率3位。

問 軟式野球及びソフトボールの使用できるグラウンドについて。

部長 軟式野球は明星山公園野球場他7施設。ソフトボールは静岡県ソフトボール場他6施設。

問 グラウンドのメンテナンスや維持管理について。

部長 指定管理者が適宜整地している。大規模な改修は市で対応している。

問 付帯設備（ダッグアウト、フェンス、ベンチ、トイレ）の整備状況について。

部長 多くの施設において付帯設備の老朽化が

進んでいる状況。大規模な改修については、優先順位をつけて実施している。

市長 芝川スポーツ広場について土を入れ替え、トイレも改善予定。フェンスも高さを検討。上井出スポーツ広場についてもトイレが老朽化しており、市内の球場をチェックし、安心・快適にプレーできるように改修していきたい。

部長 上井出スポーツ広場のトイレは建替え含め計画中。芝川及び物見山スポーツ広場のベンチ、ダッグアウトについてすぐに対応したい。

「知的財産推進計画 2024」を活用した富士宮市の観光施策に関する費用対効果とアプリ導入の検討について

問 観光施策の課題を解決するための専用アプリ開発などへの補助の可能性はいかがか。

部長 市単独の補助は現在考えていないが、国の計画を踏まえ、条件、内容等が趣旨に沿ったものであれば、国の補助金制度の対象になることも考えられる。



もちづき
望月
(無会派)

よしまさ
芳将



富士宮市立病院と地域医療の今後は

問 市立病院の医療環境在り方検討の進め方について。

部長 市立病院は建設から38年経ち老朽化が進み、また、人口減少、医療制度改革、人材不足、デジタル化、新興感染症などの課題への対応とともに今後も地域医療の中核病院として維持していかなければならない。そこで、今後の病院事業として求められる医療環境や必要な機能や施設の在り方について調査検討を行う。この調査検討は、病院事業に精通している医療コンサルタント会社に業務委託を行う。本年8月にプロポーザル方式によって業者選定を行い契約し、9月から翌年3月まで業務実施を計画している。この調査で当院の状況を明確化させ、建物の在り方も含め検討していく。

問 市として、地域医療の方針を立てた上で、病院の在り方を検討していくべきではないか。

部長 地域医療は、行政としての市、公立病院、医療機関である医師会、歯科医師会、薬剤師会、県の機関である保健所の4者が連携し、協議し決定していくものと考えている。

問 富土地域の医師不足によって（医師の偏在）、救急搬送も富士市や医療圏外に搬送している事案が多くあるが、そのことを認識した上で、市立病院の在り方が、市立病院だけの問題でなく捉えていただきたい。

市長 遅れをとらないように、財政的な裏づけを確保しながら、頑張っていく。

小中学校の保健室の使用状況と保健師の配置について

問 学校への保健師の配置は考えられないか。

教育長 看護師や保健師の人材不足のため困難。こどもの心身の健康課題も複雑化している。コミュニティ・スクールの導入が予定されているため、地域や保護者の協力を得て推進したい。